

## 第10回 武蔵野市図書館運営委員会の主な内容

日 時 平成20年10月23日(木) 午後6時30分～8時15分  
場 所 中央図書館 3階視聴覚ホール  
出席委員 磯川啓子 大久保昭男 黒子恒夫 鈴木喜和子 日高正登  
毛利和弘 守屋るり子 山本真鳥 (敬称略)  
傍聴者 3名

### 会議次第

#### 1 前回会議要録の確認

第9回会議要録を一部修正し、了承された。

#### 2 選書部会報告について

選書部会長より選書部会報告書の趣旨・内容について説明が行われ、了承された。

#### 3 議題

「運営委員会報告 ～これからの武蔵野市の図書館のあり方について～」について

「運営委員会報告 ～これからの武蔵野市の図書館のあり方について～」(案)の  
前回からの修正・変更点について、事務局より説明を行った。

{話し合われた要旨は以下のとおり}

#### はじめに

委員長 前回の「委員長あいさつ」から個人的な意見を削り、全体に短くしました。また、委員長名をやめ運営委員会としての記載としました。

委員 4行目の「相乗的效果」は「相乗効果」とした方が良いと思います。

委員長 報告書の提出日が10月23日付ですので、1行目の最後を「任期満了となります。」に変更します。

委員 最後の2行はなくても良いと思いますが、いかがでしょうか。

事務局 来年度の図書館基本計画(仮称)の策定にあたり、利用者アンケートを予定していることもあり、残して頂ければと思います。

委員 2段落目に「レファレンス・サービスを充実し」とありますが「レファレンス・サービスを充実させ」だと思えます。

委員 主語を「図書館には」とし、「レファレンス・サービスの充実と」「技術の向上が求められます。」としてはどうでしょうか。

委員長 では、3箇所を変更します。また、用語や表記の確認は事務局で対応をお願いします。

#### 2 武蔵野市立図書館のあり方

委員 3段落目に「多忙な現代人にとっては、」とありますが、限定する必要はないと思います。また、「サービス」という言葉が頻繁に出てくるため「貸出サービス」は「貸出」と表現してはどうでしょうか。

委員 確かに、「サービス」という言葉が多すぎます。文章中の意味を考えた上で整理したほうが良いと思います。

委員長 では、1・2番目の「貸出サービス」は「貸出」と変更します。

### 3 これからの図書館サービス

委員 「貸出利用サービスの充実」から「利用」を削除し「貸出サービスの充実」とした方が分かりやすいと思います。

委員 「児童」という表記は小学生に限定されるため、対象が小・中学生を指す場合は中学生を含めた「児童・生徒」に変更して下さい。

委員長 図書交流センターの趣旨や事業については、一般の利用者等に知られているのでしょうか。

事務局 まだまだ認知度は低いと思いますが、図書館ホームページへのリンク設置や館内ポスター掲示、チラシ配布等の広報を行っています。また、ブックリサイクルの開催告知と結果報告を市報へ掲載してきました。

委員長 全体の書式統一については事務局での再確認をお願いします。では、本日を持ちましてこの運営委員会を終了と致します。2年間ありがとうございました。

事務局 2年間ありがとうございました。